

## 1 資料について ※別紙状況写真

H28年度 部材格納作業とともに資料救出 → クリーニング・修復作業（委託）

H29年度 目録との照合作業・修復作業（委託）

- ◆ 今年度中に目録との照合作業完了予定。次年度以降修復作業を順次実施。

## 2 復旧にあたっての基本的な考え方

### 1. 基本方針

#### (1) 文化財的価値の保存（国指定重要文化財への指定を視野に入れた復旧）

##### ① 県指定重要文化財としての復旧

・ 県指定文化財として、指定継続を目指した（指定解除とならない）復旧を行う。

##### ② 可能な限り復原（創建時の姿に戻す）も目指す

・ 既存部材を最大限利用するとともに建築当初の痕跡調査を実施し、可能な限り建築当初（明治の創建時）の姿の復原を目指す。

#### (2) 耐震性の確保

・ 耐震化等の構造面の安全性向上に取り組む。

#### (3) 復旧財源の確保

・ 復旧を実現するために、国や県からの補助や寄付金など必要な財源の確保に努める。

#### (4) 地域活性化に寄与できる復旧・活用

・ 建物の持つ文化財的価値を顕在化させ、地域の歴史文化の発展や観光振興等の地域活性化に資するような活用を意図した復旧を目指す。

### 2. 基本方針の実現に向けた課題

#### (1) 技術的な課題（文化財的価値の保存など）

##### ① 県指定重要文化財としての復旧の可能性

##### ② 復原に向けた課題

##### ③ 耐震性の確保に向けた課題

#### (2) 財政的な課題

##### ① 復旧財源の確保・・・復旧見込額：5億円超

（現在検討中の財源）

ア 国からの財源・・・公立社会教育施設災害復旧費補助（2/3 文科省）

イ 市の一般財源・・・補助金以外は市が負担

ウ 民間からの財源

#### (3) 復旧後の活用に向けた課題

##### ① 文化財価値の普及・PR

##### ② 観光等の地域活性化などへの貢献